

該当するもの以外は二重線で消してください。

使用届の場合

水銀排出施設~~設置~~（使用、~~変更~~）届出書

届出日を記載してください

年 月 日

東京都知事 殿

押印不要です。

株式会社 東京
東京都新宿区西新宿 2-8-1

届出者 代表取締役社長 東京 太郎

郵便番号 (163 - 8001) 電話番号 (03 - 5321 - 1111)

(氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名)

大気汚染防止法~~第18条の23第1項~~（第18条の24第1項、~~第18条の25第1項~~）の規定により、水銀排出施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	株式会社東京 〇〇工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	〇〇区〇〇1-1-1	※受	日
水銀排出施設の種別	8 廃棄物焼却炉 1 基	施設の項番号（大気汚染防止法施行規則別表第3の3参照）、及び種別を記載してください。	
水銀排出施設の構造	別紙1のとおり。	※審査結果	
水銀排出施設の使用の方法	別紙2のとおり。	※備考	
水銀等の処理の方法	別紙3のとおり。	連絡先	部署名、担当者名、電話番号を記入してください。
参考事項			

- 備考
- 1 水銀排出施設の種類の欄には、大気汚染防止法施行規則（以下「施行規則」という。）別表第3の3に掲げる項番号及び名称を記載すること。
 - 2 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 3 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。
 - 5 施行規則様式第2による受理書の写しを添付し、参考事項の欄に、当該受理書の受理番号及び受理年月日を記載する場合であつて、都道府県知事又は大気汚染防止法施行令第13条に規定する市の長が別紙1～3の全部又は一部を添付することを要しないと認めるときは、別紙1～3の全部又は一部を省略することができる。

別紙 1

水銀排出施設の構造

工場又は事業場における施設番号		1号炉	
名称及び型式		廃棄物焼却炉 〇〇社製(型式**)	
設置年月日		〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日 使用届の場合は「設置年月日」を記入してください。
着手予定年月日		年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日		年 月 日	年 月 日
規模	伝熱面積 (m ²)		施行規則別表第3の3の中欄に規定する項目のいずれかを記載します。 (例) 廃棄物焼却炉であれば火格子面積、焼却能力
	燃料の燃焼能力 (重油換算 l / h)		
	原料の処理能力 (t / h)		
	火格子面積又は羽口面断面積 (m ²)	10 m ²	
	変圧器の定格容量 (kVA)		
	焼却能力 (kg / h)	2000 kg/h	

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、大気汚染防止法施行規則別表第3の3の中欄に規定する項目について記載すること。
- 3 水銀排出施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本産業規格 A 4 の大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いること。ただし、施行規則様式第2による受理書の写しを添付する場合であつて、都道府県知事又は大気汚染防止法施行令第13条に規定する市の長が構造概要図を添付することを要しないと認めるときは、当該概要図の添付を省略することができる。

ばい煙発生施設の届出受理書の写しを提出することで、別紙1～3の全部または一部を省略できます。

別紙 2

水銀排出施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		1号炉				
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	0時～24時 24時間/回 1回/日 28日/月	時～	時	時間/回 日/月	
	季節変動	変動なし など				
原材料 (水銀等の排出に影響のあるものに限る。)	種類	廃プラ、木屑、汚泥				
	使用割合	廃プラ：木屑：汚泥＝ 2：1：1				
	原材料中の水銀等含有割合	廃プラ：0.1mg/kg 木屑：0.01mg/kg 汚泥：0.02mg/kg				
	1日の使用量	48 t/d				
燃料 (水銀等の排出に影響のあるものに限る。)	種類					
	燃料中の水銀等の含有割合					
	通常の使用量					
	混焼割合					
排出ガス量(Nm ³ /h)		湿り	最大 43,000	通常 40,000	最大	通常
		乾き	最大 37,000	通常 35,000	最大	通常
排出ガス中の酸素濃度 (%)		11%				
水銀濃度 (μg/Nm ³)	全水銀	1.5μg/Nm ³				
	ガス状水銀	1.4μg/Nm ³				
	粒子状水銀	0.1μg/Nm ³				
参考事項						

代表値や平均値を記載してください。幅記載でも差し支えありません。

事業者において水銀含有量の測定が不可能な場合（梱包された状態のまま処理が求められる感染性廃棄物など）は空欄でも差し支えありません。

届出の時点で実測値が得られない場合、空欄でも差し支えありません。ただし、定期測定を実施後に変更届をご提出ください。

- 備考
- 1 水銀濃度は、乾きガス中の濃度とし、平常時の平均的な濃度を記載すること。
 - 2 水銀濃度は、水銀等の処理施設がある場合には、処理後の濃度とすること。
 - 3 参考事項の欄には、水銀等の排出状況に著しい変動がある施設についての一工程の排出量の変動の状況、水銀等の排出のために採っている方法等を記載すること。

別紙 3

水銀等の処理の方法

水銀等の処理施設の工場又は事業場における施設番号		処理施設 1				
処理に係る水銀排出施設の工場又は事業場における施設番号		1号炉				
水銀等の処理施設の種類、名称及び型式		ろ過集じん機 〇〇社製（型式**）		水銀等の大気排出抑制に効果があると考えられる排出ガス処理施設をご記載ください。 （例） 電気集じん機、スクラパー		
設置年月日		〇〇年〇〇月〇〇日				
着手予定年月日		年 月 日				
使用開始予定年月日		年 月 日				
処 理 能 力	排出ガス量 (Nm ³ /h)	湿り	最大 43000 通常 40000	最大	届出の時点で実測値が得られない場合、空欄でも差し支えありません。また、ガス状水銀、粒子状水銀を分けて測定していない場合、届出時点で得られている水銀濃度のみを記載してください。ただし、定期測定を実施後に変更届をご提出ください。	
		乾き	最大 37000 通常 35000	最大		
	排出ガス温度 (°C)	処理前	170°C			
		処理後	140°C			
	排出ガス中の酸素濃度(%)		11%			
	水銀濃度 (µg/Nm ³)	全水銀	処理前	17µg/Nm ³		
			処理後	1.5µg/Nm ³		
		ガス状水銀	処理前	14µg/Nm ³		
			処理後	1.4µg/Nm ³		
	粒子状水銀	処理前	3µg/Nm ³			
処理後		0.1µg/Nm ³				
捕集効率 (%)	全水銀		91%			
	ガス状水銀		90%			
	粒子状水銀		97%			
使 用 状 況	1日の使用時間及び月使用日数等		0時～24時 24時間/回 1回/日 28日/月	時～時 時間/回 回/日 日/月		
	季節変動		変動なし など			

- 備考 1 水銀排出施設において発生する水銀等を排出口から大気中に排出する前に処理するための施設（集じん機等）について、記載すること。
- 2 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 3 水銀濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 4 水銀等の処理施設の構造図及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。ただし、施行規則様式第2による受理書の写しを添付する場合であつて、都道府県知事又は大気汚染防止法施行令第13条に規定する市の長が当該構造図及び概要図を添付することを要しないと認めるときは、当該構造図及び概要図の添付を省略することができる。

添付書類について

水銀排出施設の概要

- ① 事業場への案内図（周辺地図で交通機関がわかるもの）
- ② 事業場敷地内の図面（水銀排出施設を設置している建物を明示する）
- ③ 水銀排出施設を設置している建物全体の図面（水銀排出施設の位置を明示する）

（別紙 1）水銀排出施設の構造

- ④ 水銀排出施設の構造概要図（水銀排出施設の構造の図面）
- ⑤ 水銀排出施設の仕様（メーカーの仕様書等で、別紙 1 に記載した規模の確認ができるもの）

（別紙 2）水銀排出施設の使用の方法

- ⑥ （別紙 2 の「水銀濃度」欄に測定値を記載した場合）
水銀測定結果の写し

（別紙 3）水銀等の処理の方法

- ⑦ 水銀等の処理施設の構造図及びその主要寸法を記入した概要図
- ⑧ 水銀測定を行う測定口（口径も記入）の位置が明示された平面図、立面図

緊急時の連絡先

- ⑨ 緊急連絡用の電話番号（表紙の連絡先欄に記入しても構いません）
- ⑩ 緊急時における連絡方法

提出部数

- 正本及びその写し 1 部